

平成28年度
BL・ALIA研究成果合同発表会
開催報告

開催日：平成28年7月13日

発表会プログラム

	時間	発表テーマ/発表者
	14:00～14:10	開会挨拶 一般財団法人ベターリビング 清水専務理事
ALIA 発表	14:10～14:30	「多様化するリフォームモデルに関する持ち家層の関心度調査から見えてきた事」 ～将来の住まい方の意向を睨んで～ 一般社団法人リビングアメニティ協会 リフォーム・施工部会 部会長 吉原 豊氏
	14:30～14:50	「住宅部品における製造年等の表示についての消費者意識調査」 一般社団法人リビングアメニティ協会 消費者・制度部会 部会長 柴崎 和彦氏
BL 発表	14:50～15:10	「床衝撃音に関する基礎実験～床仕上げ材の特徴について～」 一般財団法人ベターリビング つくば建築試験研究センター 上席試験研究役 高橋 央氏
	15:10～15:30	「住生活に係るサステナビリティの進展度合いを示す指標群の10年間の変化」 一般財団法人ベターリビング サステナブル居住研究センター 橋本 健吾氏
講演	15:40～17:00	「省エネ住宅からZEHへ ～快適で健康なすまい～」 早稲田大学教授 田辺 新一氏
	17:25～17:30	閉会挨拶 一般社団法人リビングアメニティ協会 本多専務理事

田辺先生のプロフィール

1958年 福岡県生まれ

1987 早稲田大学理工学部建築学科 大学院博士課程修了

1992 ~ 1993 カリフォルニア大学バークレー校 環境計画研究所

1992 ~ 1999 お茶の水女子大学生活科学部助教授

1997 ローレンスバークレー国立研究所訪問研究員

2002 ~ 2003 デンマーク工科大学客員教授

2001/ ~ 現在 早稲田大学創造理工学部建築学科 教授

米国暖房冷凍空調学会フェロー、日本建築学会副会長

空気調和・衛生工学会副会長、東京都環境審議会会長など

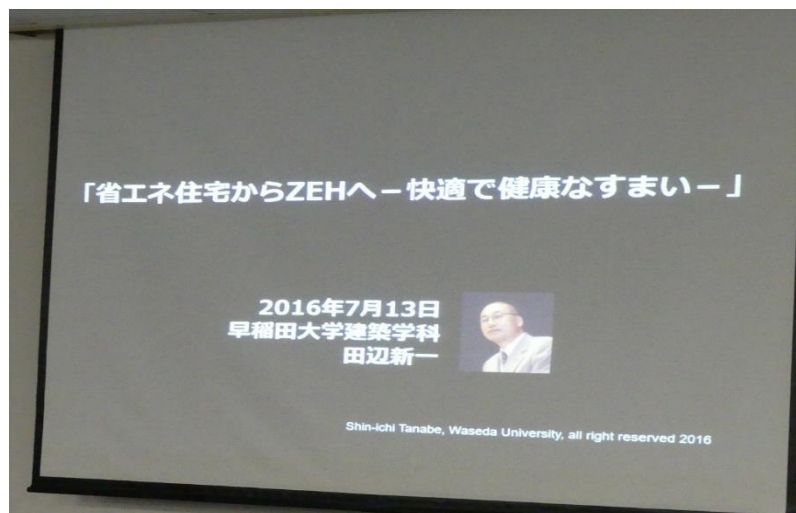
専門は建築環境学（快適性と省エネのバランスの研究）

主な研究課題は、人体の熱的快適性、化学物質による室内空気汚染（シックハウス）やオフィス環境や快適な温熱環境に関する研究など

著書に、『床暖房読本』、『低温送風空調システムの計画と設計』、『建築学の教科書 建築が毒になる シックハウス問題』、近刊には『住環境再考』など

「省エネ住宅からZEHへ ～快適で健康なすまい～」の講演要旨

日本は、2030年までに2013年比26%の二酸化炭素排出量の削減を約束した。家庭部門では39%の削減を行う必要がある。省エネ住宅を越えてZEH(ゼロ・エネルギーハウス)を実現して行く必要がある。住宅の省エネラベルやZEHの定義に関して欧米の事例を含めて紹介する。また、ZEH化では我慢の省エネではなく、冬季の非居室の室温維持と夏季の寝室の環境などの健康性能向上も必須となる。スマート社会の実現に向けた展望も事例を含めて語る。





開会挨拶 清水専務理事



リフォーム・施工部会 部会長 吉原 豊氏



消費者・制度部会 部会長 柴崎 和彦氏



つくば建築試験研究センター 上席試験研究役 高橋 央氏



サステナブル居住研究センター

橋本 健吾氏



早稲田大学教授

田辺 新一氏



早稲田大学教授

田辺 新一氏



閉会挨拶

本多専務理事



会場風景



会場風景



懇親会

出席者	ALIA関係者	72名
	BL関係者	22名
	講師	1名
	事務局	6名
合計		101名
		(前年比:108.6%)